

評価シート 様式

取組名	館山港を核とした観光交流促進プロジェクト／新たな「南房総ツーリズム」の創出 ～市民・NPOが主体となった「地域経営プラットフォーム」の創出～		
実施団体名	たてやま・コミュニティビジネス研究会	対象地域	千葉県館山市・鋸南町・南房総市・鴨川市
(代表団体名)	特定非営利活動法人たてやま・海辺のまちづくり塾	推薦団体名	千葉県館山市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	館山港を核とした観光交流促進プロジェクト／新たな「南房総ツーリズム」の創出 ～市民・NPOが主体となった「地域経営プラットフォーム」の創出～		
実施団体名	たてやま・コミュニティビジネス研究会	対象地域	千葉県館山市・鋸南町・南房総市・鴨川市
(代表団体名)	特定非営利活動法人たてやま・海辺のまちづくり塾	推薦団体名	千葉県館山市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、館山湾が有する自然資源や景観・文化、レクリエーション機能を活かした地域活性化を図るため、港を核に海からの新たな観光交流空間の創出を図るものであり、平成22年度に開設予定の「みなとオアシス渚の駅」を拠点とした取組を展開することにより、地域への高い波及効果を有する点で評価できる。今後は、ニーズの詳細な把握等を行った上で、以下の点に留意し、地方の元気再生事業として支援を行うことにより、本格展開へと発展することが期待できる。
	具体的には、取組①「地域経営プラットフォームの進化」については、継続運営を可能とする上で特に重要であり、重点的に取り組む必要がある。取組②「南房総観光カレッジ」の専門コース設置と実践システムの立ち上げ・取組③「みなとを拠点とした滞在・周遊プログラムの新たな取り組み」・取組④「地域観光情報の一元化・観光圏との連携強化」については、いずれも本年度の取組成果を活かして、効率的に行うべきである。